

## 奈良大学大学院文学研究科 博士学位取得のためのガイドライン〔課程博士〕

### 博士の学位論文の提出要件

1. 本研究科博士後期課程に3年以上（見込を含む）在学し、所定の研究指導を受けていること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本研究科委員会の議を経て、学長が認めた場合に限り、博士後期課程に1年（3年から博士前期課程の標準修業年限の2年を減じた期間）以上在学すれば足りるものとする。
2. 学位論文の提出時において、専門学会誌ないし学術誌に3本以上の論文を既に発表しており、かつ、その中にレフェリー付きの学会誌への掲載を含むこと。

### 研究指導

標準修業年限（3年）内に学位論文を提出し、論文審査に合格のうえ学位を取得できるよう、次のように研究指導を行う。

#### 1年次

指導教員の「特殊研究」を履修し、修士論文の補完しながら研究計画を見直し、「研究計画書」を提出する。また、先行研究の動向把握をするとともに、自らの研究課題を整理し、資料収集と分析を行う。年度内に研究ノートなど1～2本を学会誌等（奈良大学大学院研究年報を含む）で公表する。

#### 2年次

1年次に続き指導教員の「特殊研究」を履修し、前年度の研究計画の見直しを行い、「研究計画書」を提出する。資料収集・分析を本格化させるとともに、明らかにされた研究成果（論文1～2本を目安）を学会誌（奈良大学大学院研究年報を含む）や学会等で公表する。年度末には、研究の中間報告をする。

#### 3年次

引き続き指導教員の「特殊研究」を履修し、博士論文の提出に向け研究計画の見直しを行い、「研究計画書」を提出する。前期には、論文題目を提出し、博士論文作成に向けて所定の手続きを進めるとともに、調査・研究を進め、学会誌等での論文の公表（1～2本）を行う。後期には、博士学位請求論文を完成させ、所定の期間に提出し、最終審査となる公開発表（口述試問・公聴会）を行う。

### 博士論文審査の基準

博士の学位論文は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有すること示すと認められるものであり、本研究科の博士論文として、相応の質・量・

内容・水準を備え、以下の点を満たすものでなければならない。

- (1) 論文の独創性
- (2) 研究テーマの学問的意義・適切性
- (3) 先行研究の精査
- (4) 実証的分析・理論的分析
- (5) 論旨の統合性と一貫性
- (6) 形式的要件

## 博士論文提出の手続き

### 1. 論文題目の提出

「博士論文題目」の用紙（5月中旬配布）を大学院事務室より受け取り、指導教員の承認印を受けて、所定の期間中に大学院事務室に提出する。

※提出時間 8：30～16：30

### 2. 博士論文、論文要旨及び履歴書の提出

#### (1) 博士論文

大学院事務室で学位授与申請書を受け取り、指導教員の承認印を受け、正本1部、副本3部（複写可）、合計4部の博士論文を所定の期間中に大学院事務室へ提出する。

#### (2) 論文要旨

「論文要旨」の表紙を大学院事務室で受け取り、正本1部、副本3部（複写可）、合計4部の論文要旨を作成し、博士論文とあわせて大学院事務室に提出する。

#### (3) 履歴書

大学院事務室で履歴書の作成要領を受け取り、学歴・職歴・研究歴を詳細に記入して、博士論文とあわせて1部を大学院事務室に提出すること。

※提出時間 8：30～16：30

### 3. 用紙・書式

研究計画・論文要旨・博士論文の用紙は、以下の様式とする。

#### 【史学系】

B5判用紙（コピー用紙可。縦書き、横書きは自由。）

- ① 縦書きの場合 1頁の字数は、40字×15行 600字とする。
- ② 横書きの場合 1頁の字数は、30字×15行 450字とする。

#### 【文化財系】

A4判用紙（コピー用紙可。縦書き、横書きは自由。）

- ① 縦書きの場合 1頁の字数は、50字×16行 800字とする。
- ② 横書きの場合 1頁の字数は、40字×20行 800字とする。

※図表などで上記以外の用紙を使用する場合は、各指導教員の承認を得ることが必要。

また、上記以外の書式の詳細については、各指導教員の指示による。

#### 4. 提出枚数

研究計画、論文要旨、博士論文の枚数は次の通りとする。なお、博士論文の枚数には、表紙、目次、注、参考文献、図版等に付した解説等は含まない。

- (1) (論文要旨) 縦書き、横書きともに、4,000字以内とする。
- (2) (博士論文) 本文が400字詰原稿用紙に換算して、200枚以上とする。

#### 5. 綴じ方

##### (1) 論文要旨

所定の表紙に、指導教員名、学籍番号、氏名のほか、博士論文題目「○○○(題目)」を明記し、2枚目から本文を書き始め、必要があれば最後に注をつける。用紙(3.用紙・書式の項を参照)の綴じ方は、縦書きは右綴じ、横書きは左綴じとする。

##### (2) 博士論文〔1月の論文提出時に提出〕

- ① 論文の厚さに合った市販のファイルを使用する。
- ② ファイルには、所定の表紙及び背表紙を貼り、年度・論文題目(副題目含む)・指導教員名・学籍番号・氏名を記載する。

注：6月に提出した「論文題目」を変更した場合は、「題目変更届」に指導教員の承認印を受けて提出する。(サブタイトルを追加した場合の「題目変更届」提出は不要。)

### 博士論文の公表

審査に合格した博士論文は、論文要旨を「奈良大学大学院研究年報」に掲載する。(本人の申し出があった場合は、論文要旨を書き改めることができる。ただし、体裁・枚数は同じものとする。)

博士論文は、大学のリポジトリにより公表するため、論文をデジタル媒体で提出する。ただし、論文を出版刊行する等を理由に「博士学位論文インターネット公表留保申請書」を提出し、留保が認められた場合には、論文の要約(8,000字程度)及びその内容をデータ媒体で提出する。

**※3年を超えて在学し、且つ所定の単位を修得した者で、博士の学位論文の審査及び最終試験のみを残す者については、指導教員の了解を得た上で、所定の期日以外に下記日程での学位授与の申請が出来るものとする。(日程は詳細は年度毎に設定する)**

題目提出：4月中の3日間

学位授与申請(論文の提出)：5月末

論文審査(公聴会・口述試問)：8月～9月

学位授与：9月末

以上